

1 単 元 レッツ トライ！ 有松絞り

2 情報の交流を行う場面

発表の事前準備の段階で、学級内でリハーサルをする場面において、ペアになって情報の交流を行う。

3 情報の交流により期待される効果

自分の発表の様子を友達に見てもらうことで、よりよい発表をするための技能が高まるだけでなく、相手を意識した発表ができるようになる。

4 指導計画（14時間完了）

- (1) 有松絞りについて勉強しよう・・・・・・・・ 1時間
- (2) テーマを見付けよう・・・・・・・・ 1時間
- (3) 有松絞り講習会・・・・・・・・ 3時間
- (4) デザインを考えよう・・・・・・・・ 1時間
- (5) 有松絞り会館に行って調べよう・・・・・・・・ 2時間
- (6) Tシャツを作ろう・・・・・・・・ 2時間
- (7) 発表のリハーサルをしよう・・・・・・・・ 2時間（本時1／2）
- (8) Tシャツを着て発表会をしよう・・・・・・・・ 2時間

5 本時の指導

(1) 目標

- 「耳すまシート」を活用してお互いの発表を評価することで、改善すべき点をはっきりさせることができる。【発表する力】

(2) 準備

教 師：耳すまシート（子どもの人数分）

子ども：絞りのTシャツ

(3) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点	評価の観点と方法
7分	1 本時のめあてを確認する。	○ お互いの発表練習を見た後に「耳すまシート」を使って、よかった点や改善すべき点を伝え合うことを知らせる。 ○ 「耳すまシート」の使い方を説明する。	○ 本時のめあてを理解しているか話を聞く様子からつかむ。
35分 (15分)	2 4人グループの中でペアを作り、発表の練習をする。 (1) お互いの発表を見て、チェックする。	○ グループの中でペアを作り、発表練習をすることを伝える。 ○ 発表を見ながら、声の大きさ・視線・身振りを評価させ、また、発表が終わった後にアドバイスを記入させる。	

<p>(15分)</p>	<p>(2) 「耳すまシート」を使い、意見交換をする。</p>	<p>★ なかなか記入できない子どもには、発表を見た感想を聞きながら、具体的な言葉を引き出すようにして支援する。</p> <p>○ 記入した「耳すまシート」を使い、意見交換を行わせる。</p> <p>○ 特によかったところを認め合うようにさせ、自分の発表の中に取り入れることができるように声を掛ける。</p> <p>○ 上手にできていなかった部分について話をする場合には、相手の立場を考え、適切な表現をするように指導する。</p>	<p>○ それぞれの評価項目をチェックしているか「耳すまシート」の記述からつかむ。</p>
<p>(5分)</p>	<p>(3) 感想を書く。</p>	<p>★ 情報の交流がうまくできていないペアには、発表するときにどんなことを意識したかを聞き出し、意見交換の仕方を支援する。</p> <p>○ 自分の発表がどのように見られていたのかを確認し、改善すべき点について具体的に記述をさせる。</p>	<p>○ 「耳すまシート」を活用して意見交流がスムーズに進んでいるか、子どもの様子からつかむ。</p>
<p>3分</p>	<p>3 次時に行うことを確認する。</p>	<p>○ 次時では、本時で学んだことを生かし、発表の改善をすると共に、グループでの決めポーズについて話し合う時間であることを子どもに伝える。</p>	<p>○ 意見交換を基に改善すべき点をはっきりすることができたか「耳すまシート」の記述からつかむ。</p>

